薬物治療学Ⅰ　Pharmacotherapy Ⅰ

医療科目　3 年／前期　1.5 単位　必修科目

科目責任者　**石橋　賢一（病態生理学研究室）／石川　洋一（薬学教育研究センター／小児医薬品評価学）**

▌教育目的

医療薬学の基本および主な疾患の病態生理の概略を把握し、病態に即した薬物治療選択の組み立てが理解できる能力を養う。主要な薬物について薬理作用、病態が体内動態におよぼす影響、重要な有害事象などについて、マルチメディアを活用し学習する。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-③】

▌学習到達目標

1. 神経・精神・腎・血液・内分泌疾患の病態と重症度が評価できる（検査法を含む）。
2. 神経・精神・腎・血液・内分泌疾患の薬物療法を説明できる（薬理学と分子構造を含む）。
3. 症例に基づいた薬物治療の選択ができる（薬物相互作用を含む）。

▌準備学習（予習・復習）

予習：シラバスに提示した講義内容の予備調査（20 分）
復習：当該日の講義内容の確認と補足調査（40 分）

▌授業形態

課題解決型学習、講義

▌授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	神経疾患- 1	パーキンソン病と片頭痛の病態と薬物治療	E2(1)-③
2	神経疾患- 2	アルツハイマー病、末梢神経・筋障害の病態と薬物治療	E2(1)-③
3	神経疾患- 3	てんかんと脱髄疾患の病態と薬物治療	E2(1)-③
4	神経疾患- 4	統合失調症の病態と薬物治療	E2(1)-③
5	神経疾患- 5	うつ病・双極性障害の病態と薬物治療	E2(1)-③
6	神経疾患- 6	不安・神経症の病態と薬物治療	E2(1)-③
7	神経疾患- 7	不眠症の病態と薬物治療	E2(1)-③
8	腎疾患- 1	ＡＫＩ、ネフローゼ症候群の病態と薬物治療	E2(3)-③
9	腎疾患- 2	ＣＫＤ、透析、泌尿器疾患の病態と薬物治療	E2(3)-③
10	腎疾患- 3	酸塩基・水電解質異常の病態と薬物治療	E2(3)-③
11	内分泌疾患- 1	甲状腺～副腎疾患の病態と薬物治療	E2(5) －②
12	内分泌疾患- 2	下垂体～生殖器疾患の病態と薬物治療	E2(5) －②
13	血液疾患- 1	貧血～凝固異常の病態と薬物治療	E2(3)-②
14	代謝疾患- 1	骨代謝疾患の病態と薬物治療	E2(2) －③
15	代謝疾患- 2	痛風・プリン代謝疾患の病態と薬物治療	E2(5) －①

▌授業分担者

A・B 組共通／櫛山暁史（No.1～2, 11～15), 石川洋一（No.3～7), 石橋賢一（No.8～10）、

▌課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期末（90 %）および出席状況・授業態度・中間試験（10 %）で総合評価を行う。レポートなどあればそれも考慮する。

▌教科書

講義プリントを配布する。

▌参考書

「今日の診療」（MY-PORT ＞医療人 GP サイト内）